

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		色麻町農業振興連絡会事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		03 ふれあいのある農業の確立		
	目	03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,245	1,245	500	500	500
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
一般財源		1,245	1,245	500	500	500	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻町・色麻町農業委員会・加美よつば農業協同組合・宮城県農業共済組合六の国支所・色麻土地改良区・宮城県加美農業高等学校・大崎農業改良普及センター						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 関係機関の情報交換を図り、農業生産の増大と農業経営の安定を目的とする事業。						
⑤	事業概要 情報交換会・研修会・講演会・各種行事の開催 ①秋まつり②新米試食会③猷魂祭④行事暦作成⑤農業関連視察研修会⑥牛肉祭りの協力						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 農政の変革に伴い、ニーズにあった事業を行っている。 共済組合の広域合併による財政負担の減少の懸念。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町農業振興連絡会会則						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	事業実施回数 単位：回	実績値	9	9	9	
			目標値	0	0	0	
定義 行事、研修会等回数							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	4
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	町、農業関係団体の農業振興に必要な事業である。	
点数	14	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	農業情勢の情報交換など必要な事業である。	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	事業費については関係団体と調整し事業を行っている。	
点数	14	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	新米試食会、秋まつり等の事業を適時行っている。	
点数	5	

⑪		
課長総括評価	国の農業施策等に対応するため、関係団体と連絡調整を行い農業振興を図るためにも欠かせない事業である。	
合計点	47	
今後の方向性	改善の上継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町民秋まつり事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	03 ふれあいのある農業の確立	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		278	266	337	268	343
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	278	266	337	268	343
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻町民（住民、商工会、企業関係者など）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 町民一体となり、実りの秋・収穫の喜びを祝いもちつき大会・農産物品評会・スポーツ大会での交流や特産品の展示販売及び文化協会の発表による技術の向上						
⑤	事業概要 米消費拡大事業（もちつき大会、もちまき大会、ポスター）、農産物品評会、特産品販売、スポーツ大会、各種相談コーナー、文化協会による発表・展示						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について もちつき大会は行政区を主体としていることから、臼・杵の老朽化により町で貸し出しを行い対処している。 町外から餅の試食めあての来場者が多く、地区では配布に苦労している。町外来場者に対応するためのコーナーを設けるなどの対応が必要になっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 色麻町民秋まつり実施要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：—	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）		3
イ 最も適切な方法で行われている		3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している		3
評価の説明	参加団体で準備、運営を主体的に行うようになってきている。	
点数	9	
有効性の評価		
ア 長期的な効果が期待できる		3
イ 目的を達成するために有効な事業である		4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である		4
評価の説明	もちつき大会などにより町民の交流には有効な事業である。	
点数	11	
効率性の評価		
ア 経費は適切かつ最低限である		4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている		4
ウ 受益者負担は適正である		3
評価の説明	もちつき大会のもち米はJ A加美よつばから無償で提供されており関係団体の協力により効率的に行われている。	
点数	11	
達成度の評価		
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている		4
評価の説明	もちつき大会などを通じて住民のコミュニケーションが図られ成果は上がっている。	
点数	4	

⑪		
課長総括評価	関係団体と開催方法を十分に検討改善し継続していく。	
合計点	35	
今後の方向性	改善の上継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		行事曆作成事業				
	担当課・係名		産業振興課 農政係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
		項	01 農業費		小分類	03 ふれあいのある農業の確立	
目		03 農業振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		495	469	496	474	496
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	495	469	496	474	496
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民、町内関係団体への行事曆配布							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
町主催関係等の行事一年分を記入し、月毎の、行事写真を掲載した行事曆配布。							
⑤	事業概要						
行事曆配布事業 町1, 700部、町農業振興連絡会500部、合計 2, 200部							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
町内の学校・役場等の行事を載せ10年以上配布しており、町民がなれ親しんでおり欠かせない。 また、各団体の行事の掲載により計画が立てやすい。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：—	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	町民のニーズを考え妥当な事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	各団体等の1年間の事業が記載されていることから、町民からの需要が高い。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 14	各関係機関と連携を図り事業を進めている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	町民より期待され、毎年楽しみにされている事業である。

⑪	課長総括評価 町民より期待され、毎年楽しみにされている事業であることから、現状のまま継続していく。 合計点 43
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農村環境改善センター施設管理運営事業				
	担当課・係名		農村環境改善センター				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	06 農林水産業費		中分類	01 色麻型農業の育成	
項		01 農業費	小分類		03 ふれあいのある農業の確立		
	目	07 農村環境改善センター費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		13,941	13,578	201,609	201,465	11,209
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	112	140	165,820	165,964	80
一般財源		13,829	13,438	35,789	35,501	11,129	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町民、町農村環境改善センター（管理）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
本町における生涯学習施設として、町民の学習の場、町民交流の拠点として位置づけ、生涯学習、文化教養の向上を推進する。							
⑤	事業概要						
常に最善の状態状態で管理し、その設置目的に応じて最も効率的に運用する。 平成30年度に改修工事を実施した。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>少子・高齢化等社会情勢の変化に伴い、住民のニーズも多様化している。改修工事の範囲外の中には劣化が進んでいる箇所もある。</p> <p>また、瑕疵期間も平成30年度で終了するため、今後の設備機器等の維持管理を良好に行うため、保守契約が必要になる。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町農村環境改善センター設置及び管理に関する条例 色麻町農村環境改善センター使用条例							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：件	実績値	32	29	9		
		目標値	0	0	0		
定義	有料を目的とした施設ではないので、需要には対応しているが、目標値は設定していない。						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：人	実績値	15,614	13,980	4,326		
		目標値	0	0	0		
定義	改善センターの利用人数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 11	生涯学習施設として、多くの町民が利用する施設であることから、耐震はもとより、風水害にも充分適応できる施設管理が重要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 点数 11	常に良好な状態に管理し、最も効率的に運用するよう努めている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 11	光熱水費など、利用者に啓蒙し経費節減に努めている。他町村の公民館の使用料よりも比較的高い設定である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	利用者数は、減少傾向にあるが、改修工事完了後の令和元年度は増加すると思われる。

⑪	課長総括評価 合計点 36	リニューアル後、様々なメンテナンスが発生する。 また、床面が土足使用になることから、なお一層の清掃作業が必要になる。 今後も常に良好な状態で使用できるよう施設の維持管理に努めていく。
今後の方向性	改善の上継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		